

# 石狩市の財政状況

市では毎年、6月と12月に財政状況を公表し、市税や国・道からの補助金などがどのように使われているのかをお知らせしています。

今回は令和8年度予算の概要と、令和7年度予算の執行状況についてお知らせします。※金額は概数としています

## 令和8年度 予算の概要

令和8年度は「こどもまんなかまちづくり」や脱炭素による地域の創生、自治体DXによる行政サービス改革を柱として、まちの持続性向上と新しい石狩の未来を創る「未来始動予算」を編成しました。

**一般会計予算額 388億円**  
※前年度比2.3%減

### 歳入のポイント

#### ●市税

個人市民税、固定資産税などで増加を見込み、過去最大の市税収入額を更新。令和7年度と比較して3億7,005万円の増となりました。

#### ●市債

昨年度開業した市内ホテルへの貸付金に伴う借入16億5,000万円の減などにより、令和7年度と比較して25億560万円の減となりました。

※自主財源…市が自主的に収入できる財源のこと  
※依存財源…国や道から市に配分される財源のこと

### 歳出のポイント

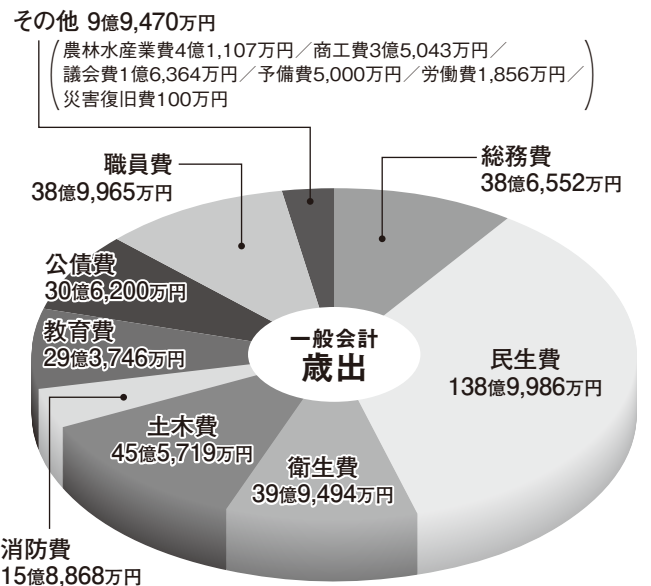
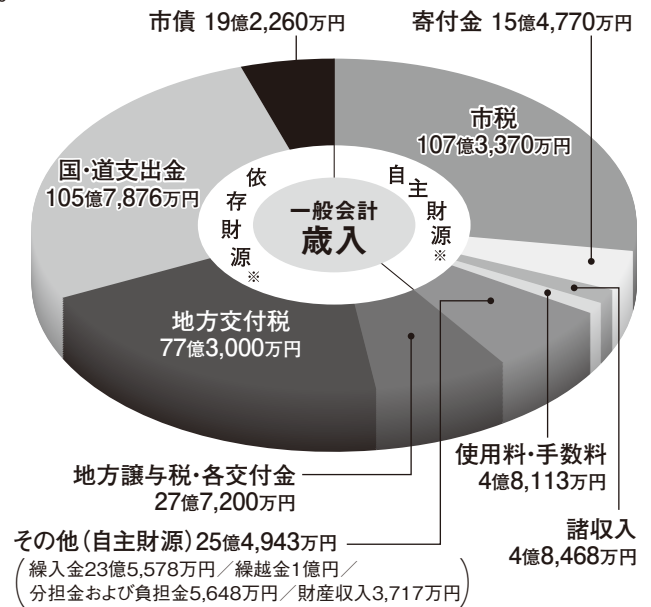
#### ●衛生費

ゼロカーボンシティの推進事業やリサイクルプラザ修繕事業などにより、令和7年度と比較して4億2,177万円の増となりました。

#### ●教育費

義務教育学校施設整備事業の完了や校務DX推進事業などの減により、令和7年度と比較して3億4,637万円の減となりました。

**特別会計・企業会計予算額 201億8,417万円**  
※前年度比5.0%増



特別会計	国民健康保険	59億8,965万円	介護保険	60億5,561万円
	国民健康保険診療所	1億7,697万円	介護サービス	2億7,785万円
	後期高齢者医療	14億212万円		
企業会計	水道	収益的支出 20億8,937万円	資本的支出	10億8,370万円
	下水道	収益的支出 16億6,833万円	資本的支出	14億4,057万円

予算の情報は、市HP「財政資料室(予算・決算)」でもご覧いただけます



▲市HP

## 令和7年度(令和8年3月31日現在) 予算の執行状況

最終的な決算額は、5月31日までの出納整理期間を経て確定します。支出額に対して資金不足が見込まれる際は、一時的に借り入れて対応しています(3月31日現在の一般会計一時借入金残高は0円)。

### ◎一般会計

歳入歳出予算額	447億9,161万円
執行率(歳入)	83.8%
執行率(歳出)	90.7%

※予算額は繰越事業を含む

### ◎特別会計

区分	歳入歳出予算額	執行率(歳入)	執行率(歳出)
国民健康保険	60億7,312万円	90.3%	90.5%
国民健康保険診療所	1億7,983万円	67.4%	88.5%
後期高齢者医療	12億3,758万円	98.0%	95.1%
介護保険	58億7,065万円	96.1%	89.1%
介護サービス	2億6,994万円	96.6%	97.7%

### ◎企業会計

区分	収益的収支		資本的収支	
	収入額	支出額	収入額	支出額
水道※1	19億9,577万円	19億7,437万円	5億1,522万円	10億2,533万円
下水道※2	15億4,237万円	15億3,447万円	3億9,855万円	9億4,705万円

※1 給水人口56,315人/給水戸数27,727戸/有収水量5,128,879m<sup>3</sup>(いずれも見込み) ※2 水洗化人口54,015人/水洗化世帯数27,162世帯/有収水量4,470,403m<sup>3</sup>(いずれも見込み)

## 借入金(市債)の残高

借入金の残高は約444億9,300万円で、令和6年度決算と比較して24億400万円の増となりました。

一般会計 約318億1,600万円      特別会計 約6,300万円      企業会計 約126億1,400万円

### Q&A

市民1人当たりの借入金(市債)は、どのくらい?

**A** 借入金(市債)の残高は令和7年度末で、1人当たり約79万円(一般会計56万円、特別会計・企業会計23万円)で、令和6年度末と比べると、1人当たり約4万円の増となりました。

どうして借入れ(市債発行)をする必要があるの?

**A** 公共施設の整備・建設など、まちづくり事業には一時的に多額の費用がかかります。この費用を市債の発行で賄い、長期間にわたり計画的に返済をすると、毎年の財政負担を平準化できるだけでなく、今後施設を利用する将来世代にも費用負担をしていただくこととなり、世代間の公平性が保たれます。